

# 住宅気密性能評価書

1. 建築主 : 有限会社ダイゼン  
2. 建物の名称 : 様邸 新築工事  
3. 建物の所在地 : 徳島県小松島市  
4. 測定年月日 : 2022年11月4日

相当隙間面積【C値】 :  $0.1\text{cm}^2/\text{m}^2$  ※参考値 エラー発生のため  
隙間特性値【n値】 : 1.35  
ACH : 0.3回/h

評価書交付年月日 : 2022年11月14日

測定者 : 香川県高松市寿町2-2-10  
高松寿町プライムビル6F  
日本住環境株式会社 高松営業所

### 住宅の気密性能試験結果（1）

依頼者	会社名又は氏名	有限会社ダイゼン	電話	088-634-3725
	住所	徳島県板野郡藍住町奥野字前川112-14		

測定対象建物の概要				
建物の名称		様邸 新築工事		
所在地		徳島県小松島市		
竣工年月日		令和4年11月4日(測定日)		
構造及び工法		在来軸組工法 木造1階建		
建物の規模	地階床面積		m <sup>2</sup>	
	1階床面積	96.88	m <sup>2</sup>	
	2階床面積		m <sup>2</sup>	
	3階床面積		m <sup>2</sup>	
	延べ床面積	96.88	m <sup>2</sup> (A)	
開口部の仕様		窓-----単層(引き違い、外開き、内開き)、2重窓(引き違い、外開き、 <u>内開き</u> )、 その他(構成と開閉方式： 玄関戸----引き戸、 <u>外開き戸</u> 、内開き戸、その他( )		
主な部位の気密層の仕様		防湿フィルム(気密テープ： <u>使用</u> ・不使用)、内装材、断熱材、構造材(コンクリートなど)、その他( )		
建物概要図		別紙図面の通り。		
通気量を測定した位置		添付平面図に示す。		

測定時の建物条件				
	部 位	開 閉 状 態 等	確認	特記事項(左欄以外の処理方法)
1	建物外被にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	なし	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	目張り	○	
7	台所レンジファン	目張り	○	
8	換気扇・天井扇	目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水又は管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	目張り	○	
12	建物外被の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	
測定対象外にした部分(空間)の名称		なし		
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積			m <sup>2</sup> (B)	
吹き抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積		48.44	m <sup>3</sup> ÷ 2.6 m = 18.63 m <sup>2</sup> (C)	
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = (A) - (B) + (C) = 115.51 m <sup>2</sup>		
測定対象とした建物の外被内容積		V = 300.33 m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入のこと)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

# 住宅の気密性能試験結果 (2)

様邸 新築工事

測定者・測定方法・測定装置			
事業所	日本住環境株式会社	事業所登録番号	0078
所在地	東京都台東区秋葉原1-1 秋葉原ビジネスセンター9階	測定者	吉川
		登録番号	09260-24
		電話番号	03-5289-3302
測定方法	JIS A 2201(送風機による住宅等の気密性能試験方法)による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。 (測定回数や測定時の外部環境などの理由から、試験結果は参考値となります)		
測定装置	コーナー札幌(株) KNS-5000C型(管理番号、高松1、製造番号:15-5019)		

試験日時	2022年11月4日 15時00分		～	16時00分 まで	
測定時の環境	天候	晴れ		風速	4.6 m/S
	室内温度	23.8 °C		風向(主風向)	西
	外気温度	21.3 °C		風速測定位置	アメダス
				気圧	1013.0 hPa

各圧力差 $\Delta P$ (Pa) における 通気量 $Q$ ( $m^3/h$ )	測定回	1回		2回		3回	
	測定点	$\Delta P$	Q	$\Delta P$	Q	$\Delta P$	Q
	1	20.7	77				
	2	32.9	113				
	3	39.8	131				
	4	49.9	148				
	5	60.1	170				

データの測定回	1回	2回	3回	平均
隙間特性値: $n$ ( $1 \leq n \leq 2$ )	1.35	←左記は測定不能の為、 6cm × 6cm=36cm <sup>2</sup> 穴開けて測定した数値 よって $\alpha A = 31cm^2 - 25cm^2 = 6cm^2$ {参考値とする}		1.35
通気率 ( $\Delta P = 1Pa$ 時の通気量): $a$ ( $m^3/h \cdot Pa^{-1}/n$ )	8.3			
$\Delta P = 9.8Pa$ における通気量: $Q_{9.8}$ ( $m^3/h$ )	45.0			
係数: $b = 0.627 p^{1/2}$	0.687			
総相当隙間面積: $\alpha A = Q_{9.8} \times b$ ( $cm^2$ )	31		0	
相当隙間面積: $C = \alpha A / S$ ( $cm^2/m^2$ )	0.05	0.0		0.05
参考: 50Pa時の漏気回数: ACH (回/h)	0.5	0.0		0.3
50Pa時の通気量 ( $m^3/h$ )	151			

## 測定結果添付欄

2022年11月04日 データNo. 0001  
モード: セミオート測定 (減圧法)

相当隙間面積:  $C = 0.3cm^2/m^2$   
建物外皮の実質延べ床面積:  $S = 115.51m^2$

総相当隙間面積:  $\alpha A = 31cm^2$   
隙間特性値:  $n = 1.35$   
通気率 ( $\Delta P = 1Pa$ 時の通気量):  $a = 8.3$   
 $\Delta P = 9.8Pa$ における通気量:  $Q_{9.8} = 45.0m^3/h$

室内温度: 23.8°C 係数(b): 0.687  
外気温度: 21.3°C

### 測定パラメータ

圧力差 20.7Pa	通気量 77m <sup>3</sup> /h
圧力差 32.9Pa	通気量 113m <sup>3</sup> /h
圧力差 39.8Pa	通気量 131m <sup>3</sup> /h
圧力差 49.9Pa	通気量 148m <sup>3</sup> /h
圧力差 60.1Pa	通気量 170m <sup>3</sup> /h

50.0Pa時の確定流量: 151m<sup>3</sup>/h

通気量-圧力差特性グラフ



